

1年次（45期生）の指導要綱および年間計画

副主任：麻生由子 担任：亀川典子

- 【目的】 1. 入学した目的・目標を明らかにし、社会規範を守り思いやりを持った主体的行動を取ることができる。
2. 看護学生として1年次に必要な知識・技術・態度を身に付けることができる。

- 【目標】 1. 新しい学習環境に適応できる。
2. ビジョン・ゴールに向け、主体的に行動する習慣を身に付けることができる。
3. 思いやりの気持ちを持ち、周囲への気配り・心配りを意識し、行動できる。
4. 基本的な生活習慣を整え、看護学生として責任ある行動をとることができる。

前期（4月～9月）

	学校行事・学年行事	指導項目	指導方法・目的
4	9 入学式	式典への参加の仕方	
	10・13・14 オリエンテーション	学生生活について	学生便覧を中心に、学習姿勢や校内のルールについて説明する。
	13 健康診断	健康管理について	健康診断結果を通して、健康状態を知り、自己の健康管理につなげる。
	15～講義開始 →延期	講義の受け方について	講義の受け方について説明する。
	16・17 研修 →休校のため中止	目的意識の明確化と学生生活について クラスの協調性	本校入学の目的・目標の意識付けを行う。レクリエーションを通し親睦を深める。
	24 自治会総会 胸部レントゲン撮影	自治会活動について 健康管理について	自治総会に参加し、主体性・協調性・創造性の向上につなげる。
5	1 スポーツ交流会（尾医看） →HR	他学年との交流・学校行事について	学校行事や他学年との交流をイメージできるように説明する。
	7 自転車安全教室 →延期	交通安全（社会的規範）について	自転車の交通マナーに対する意識付けを行う。
	新入生歓迎会 →HR	学生生活について 目標の明確化 国家試験について	学校生活（年間行事等）・1年次の目標や取り組み・国家試験について説明し、一人一人がビジョン・ゴールを明確にできるようにする。
	8 東部地区スポーツ大会 →HR		
	9 バイク講習会 →延期	交通安全（社会的規範）について	バイクの交通マナーに対する意識付けを行う。
6	前期個人面接	入学後の生活・学習について	面接により、仕事と学業の両立や学習状況について知り必要であれば助言を行う。
	12 科目試験の受け方	試験の受け方と結果の取り扱いについて	試験に臨む姿勢と試験の受け方について説明する。
	16 科目試験開始		
	17 共通看護技術開始前までに 基礎看護技術について	看護技術単位認定の説明 実習室入室方法・身だしなみについて	看護技術の習得のための心構えや基礎看護技術の科目の単位認定方法について説明する。実習の手引きをもとに、身だしなみの整え方や実習室に入室する方法を説明する。

7	5 エイズ講演会	性感染症の予防対策について	自分自身、そして大切な人を守るために、性感染症の予防策を学び考えることができるよう支援する。
	27~ 夏期休業 (8/21 まで)	夏期休業の過ごし方・課題について	入学以降の生活・学習を見つめ、仕事と学業が両立でき学習習慣が身についたか振り返る。
8	24 始業	後期の予定について (学校祭・看護技術の練習等)	後期の過ごし方 (特に看護技術についての学習) をイメージできるように説明する。
	放課後 看護技術練習会	技術練習について	自己の課題点を明確にし、他者と学び合いながら主体的に練習し看護技術を身に付ける。

後期(10月~3月)

	学校行事・学年行事	指導項目	指導方法・目的
10	1 ハイパーQU (放課後)	ハイパーQUの実施	学校生活を送るうえでの課題を明確にするためハイパーQUを実施する。
	6 防災訓練	防災について	防災の知識を伝え、避難方法を説明する。災害に対し何が必要か考える機会を作る。
	15/16 学校祭準備 17 学校祭 19 振替休日	対外的な行事での社会的規範の学習	特に学校祭の係に携わることで主体生・協調性・創造性を身に付ける機会とする。
	宣誓式について	宣誓式の意義・参加について	看護師を志す原点に戻り、今後の生活や学習への活力とするため宣誓式とは何か説明する。
11	5 2年生宣誓式 6 HR・祝賀会 放課後 看護技術練習会	宣誓式参加	看護師を志す原点に戻り、今後の生活や学習への活力するために先輩の宣誓式に参加する。
12	2 施設見学	病院環境の見学について	学習した病院環境について理解を深めるために病院見学を行う。
	25 自治総会 26~ 冬期休業 (1/4 まで)	冬期休業の過ごし方・課題について	基礎看護技術の習得に向け、有効に休業時間を活用するよう促す。
1	5 始業 放課後 看護技術練習会	基礎看護技術の習得 科目単位の修得を支援	単位習得に対して確実な知識が定着できるよう学習会や、基礎看護学技術の習得を目指した練習会を実施する
2	25 歓送会 放課後 看護技術練習会		
3	後期個人面接	生活・学習状況の把握と指導	面接により、仕事と学業の両立や学習状況について知り、今の思いを把握し、また1年間の振り返を行う。
	HR(国試対策) 18 終業式 HR 22~春期休業	解剖生理学の知識の定着度の確認 1年次の振り返り・今後に向けて	解剖生理学の知識の定着度を模擬試験により確認。 仕事と学業の両立や学習習慣の確立が行えていたか振り返る。

1年次の取り組み

目 標	細目標	方 法
<p>1. 新しい学習環境に適応できる。</p>	<p>1) 仕事と学校生活の両立ができ、毎日出席できる</p> <p>①全出席</p> <p>2) 学習環境を整えることができる。</p> <p>①自分自身と周囲の学習に支障がないよう、受講マナーを守ることができる。</p> <p>3) 計画的に課題に取り組む習慣を身に付ける。</p> <p>①課題を毎回提出期日を守って提出することができる。</p>	<p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談などで、今の状況を把握し、両立できるよう助言を行う。 ・健康管理を行い、欠席がないよう指導する(健康診断などの機会を活用) ・毎月の出欠席状況を把握する。 <p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講マナーとは何かを考え具体的な行動目標を決める。(入学後研修) ・クラス全体でお互いが協力し取り組めるように促す。 ・週番・教材係の役割、授業のマナーについて、随時伝える。 <p>3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の学習方法の特徴を捉える(入学後研修) ・課題を提示し、計画的に学習する習慣をつける
<p>2. ビジョン・ゴールに向け、主体的に行動する習慣を身に付けることができる。</p>	<p>1) 看護師になるという目的意識(意欲)を明確にし、学習取り組む力とする。</p> <p>①ハイパーQUで退学リスク者がいない(前期評価)</p> <p>②1年次ゴールの達成度が80%以上の学生が7割となる(年間評価)</p> <p>2) 基礎看護技術を主体的に身に付けるための行動ができる</p> <p>①基礎看護技術練習会に参加し、本試験技術合格者が半数以上となる。</p>	<p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年間と1年次それぞれのビジョンゴールを記入し、ポートフォリオの表紙とし、一年を通じて意識する。 ・ビジョンゴールの中間評価(6月面談時、前期終了時)・1年評価(3月面談時)を行い、自己の目的意識を思い出すきっかけを作る ・ハイパーQUで退学リスク者について個別支援を行い、目的意識を持てるようにする <p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護技術の大切さを伝え、技術練習を促す。技術試験1～2か月までには放課後練習会を担当講師と協力しながら実施する

<p>3. 思いやりの気持ちを持ち、周囲への気配り・心配りを意識行動できる。</p>	<p>1) 自分自身を振り返ることができる</p> <p>①ハイパーQU で自己の傾向を理解できる。</p> <p>②他者への影響を含め、自分自身の行動や言動を振り返ることができる。</p> <p>2) クラスの中での自己の役割を認識し行動できる</p> <p>①係・委員の仕事を引き受け、役割が果たせている</p>	<p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年通信の配信と HR の活用（自分自身を振り返る機会がもてるようにする） <p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員や係について自分たちで話し合い決定、役割遂行できるよう支援する
<p>4. 基本的な生活習慣を整え、看護学生として責任ある行動をとることができる。</p>	<p>1) 看護師・学習者に必要な姿勢や態度を身に付ける。</p> <p>①決まり事を守る。 (学則、時間、提出物の期限厳守)</p> <p>②登校時掲示板の確認できる。</p> <p>③報告・連絡・相談ができる。 (欠席の際の事前連絡)</p> <p>④挨拶ができる。</p> <p>⑤届出をすみやかに提出できる。</p>	<p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護者にとって、学習者にとって、必要な態度は何かを具体的に伝える。(入学時オリエンテーションや研修、随時) ・挨拶をすること・掲示板をみること・メモをとる習慣を身に付けるなどを指導する。 ・できるだけ、学生が考えて行動できるように、1回目は具体的に説明し、2回目以降は学生の行動を待つ。